

1級キャリアコンサルティング技能士による実務指導に関する証明書 (国家資格キャリアコンサルタント登録更新申請用)

【記入例】

申請者が作成する書類です

1. 更新申請者

フリガナ	ノウ カイ ハナ コ	キャリアコンサルタント登録番号
氏名	能 開 花 子	XXXXXXXXXX

※実務従事時間数と合計で10時間以内に限り技能の維持を図るための講習が免除されます。

2. 実務指導内容

				指導時間数合計	2時間 20分	
1	年月日	2017年10月15日	指導方法 (いずれかに○)	○ 対一 グループ	指導時間数	1時間 00分
	事例の概要： 40代男性 非正規社員今後のキャリア形成について			指導の要点と課題、今後の目標： クライアントの問題把握が不十分、活用可能な技法を増やす		
2	年月日	2018年03月11日	指導方法 (いずれかに○)	対一 ○グループ	指導時間数	1時間 20分
	事例の概要： 企業内相談事例			指導の要点と課題、今後の目標： 逐語記録に基づき検討を行った		
3	年月日	年 月 日	指導方法 (いずれかに○)	対一 グループ	指導時間数	時間 分
	事例の概要：			指導の要点と課題、今後の目標：		
4	年月日	年 月 日	指導方法 (いずれかに○)	対一 グループ	指導時間数	時間 分
	事例の概要：			指導の要点と課題、今後の目標：		
5	年月日	年 月 日	指導方法 (いずれかに○)	対一 グループ	指導時間数	時間 分
	事例の概要：			指導の要点と課題、今後の目標：		
6	年月日	年 月 日	指導方法 (いずれかに○)	対一 グループ	指導時間数	時間 分
	事例の概要：			指導の要点と課題、今後の目標：		
7	年月日	年 月 日	指導方法 (いずれかに○)	対一 グループ	指導時間数	時間 分
	事例の概要：			指導の要点と課題、今後の目標：		
8	年月日	年 月 日	指導方法 (いずれかに○)	対一 グループ	指導時間数	時間 分
	事例の概要：			指導の要点と課題、今後の目標：		
9	年月日	年 月 日	指導方法 (いずれかに○)	対一 グループ	指導時間数	時間 分
	事例の概要：			指導の要点と課題、今後の目標：		
10	年月日	年 月 日	指導方法 (いずれかに○)	対一 グループ	指導時間数	時間 分
	事例の概要：			指導の要点と課題、今後の目標：		

キャリアコンサルタント登録番号	XXXXXXXXXX	指導者確認欄： フリガナ：コウセイ タロウ 指導者氏名：厚生 太郎
1級キャリアコンサルティング技能士合格番号	XXFXXXXXXXXX	指導者が署名捺印してください



【注意事項】

- (1) 「技能検定キャリアコンサルティング職種1級に合格したキャリアコンサルタントにより行われるキャリアコンサルティングの実務に関する指導」に該当するかどうかは、以下のいずれの項目にも適合するかを基準に個別に判断することになります。
 - ①指導者は、技能検定キャリアコンサルティング職種1級に合格しており、かつキャリアコンサルタントであること。
 - ②指導者から被指導者への指導が、対一、または個別指導が成立する程度の一対少数数（概ね6名以内）形態で、対面・応答的方式により行われること。
 - ③指導が、被指導者がキャリアコンサルタントとして従事した事例に基づくものであること（職業キャリアの分野以外のカウンセリング事例に基づくもの等は対象となりません。）、また、指導者が被指導者のキャリアコンサルタントとしての課題や目標を把握した上で、これを踏まえキャリアコンサルティングの技能等に関して個別・具体的な指導を行っていること。
- (2) 計上する時間は、指導を受けた時間のみを計上し、記録作成等の時間は記載しないこと。
- (3) 当該指導者による実務指導が複数年度にわたる場合は、年度ごとに1枚とすること（一証明書内で年度をこえないようにすること）。
- (4) 複数の指導者による実務指導を受けた場合は、指導者ごとに作成すること。

1級キャリアコンサルティング技能士による実務指導に関する証明書 (国家資格キャリアコンサルタント登録更新申請用)

【記入例】

申請者が作成する書類です

1. 更新申請者

フリガナ	ノウ カイ ハナ コ	キャリアコンサルタント登録番号
氏名	能 開 花 子	XXXXXXXXXX

※実務従事時間数と合計で10時間以内に限り技能の維持を図るための講習が免除されます。

2. 実務指導内容

指導時間数合計			1時間 00分		
1	年月日	2018年10月15日	指導方法 (いずれかに○)	○ 対一	グループ
	事例の概要： 30代女性 産休後の職場復帰			指導の要点と課題、今後の目標： クライアントの気づきを促す質問が不足、支援関連情報を常に更新していくこと	
2	年月日	年 月 日	指導方法 (いずれかに○)	対一	グループ
	事例の概要：			指導の要点と課題、今後の目標：	
3	年月日	年 月 日	指導方法 (いずれかに○)	対一	グループ
	事例の概要：			指導の要点と課題、今後の目標：	
4	年月日	年 月 日	指導方法 (いずれかに○)	対一	グループ
	事例の概要：			指導の要点と課題、今後の目標：	
5	年月日	年 月 日	指導方法 (いずれかに○)	対一	グループ
	事例の概要：			指導の要点と課題、今後の目標：	
6	年月日	年 月 日	指導方法 (いずれかに○)	対一	グループ
	事例の概要：			指導の要点と課題、今後の目標：	
7	年月日	年 月 日	指導方法 (いずれかに○)	対一	グループ
	事例の概要：			指導の要点と課題、今後の目標：	
8	年月日	年 月 日	指導方法 (いずれかに○)	対一	グループ
	事例の概要：			指導の要点と課題、今後の目標：	
9	年月日	年 月 日	指導方法 (いずれかに○)	対一	グループ
	事例の概要：			指導の要点と課題、今後の目標：	
10	年月日	年 月 日	指導方法 (いずれかに○)	対一	グループ
	事例の概要：			指導の要点と課題、今後の目標：	

キャリアコンサルタント登録番号	XXXXXXXXXX	指導者確認欄： フリガナ：トウロク スミコ 指導者氏名：登録 済子
1級キャリアコンサルティング技能士合格番号	XXFXXXXXXXXX	指導者が署名捺印してください



【注意事項】

- (1) 「技能検定キャリアコンサルティング職種1級に合格したキャリアコンサルタントにより行われるキャリアコンサルティングの実務に関する指導」に該当するかどうかは、以下のいずれの項目にも適合するかを基準に個別に判断することになります。
 - ①指導者は、技能検定キャリアコンサルティング職種1級に合格しており、かつキャリアコンサルタントであること。
 - ②指導者から被指導者への指導が、対一、または個別指導が成立する程度の対一少人数（概ね6名以内）形態で、対面・応答的方式により行われること。
 - ③指導が、被指導者がキャリアコンサルタントとして従事した事例に基づくものであること（職業キャリアの分野以外のカウンセリング事例に基づくもの等は対象となりません。）、また、指導者が被指導者のキャリアコンサルタントとしての課題や目標を把握した上で、これを踏まえキャリアコンサルティングの技能等に関して個別・具体的な指導を行っていること。
- (2) 計上する時間は、指導を受けた時間のみを計上し、記録作成等の時間は記載しないこと。
- (3) 当該指導者による実務指導が複数年度にわたる場合は、年度ごとに1枚とすること（一証明書内で年度をこえないようにすること）。
- (4) 複数の指導者による実務指導を受けた場合は、指導者ごとに作成すること。

1級キャリアコンサルティング技能士による実務指導に関する証明書
(国家資格キャリアコンサルタント登録更新申請用)

【記入例】

申請者が作成する書類です

1. 更新申請者

フリガナ	ノウ カイ ハナ コ	キャリアコンサルタント登録番号
氏名	能 開 花 子	XXXXXXXXX

※実務従事時間数と合計で10時間以内に限り技能の維持を図るための講習が免除されます。

2. 実務指導内容

実務指導内容			指導時間数合計	1時間 00分		
1	年月日	2019年 8月 1日	指導方法 (いずれかに○)	① 対一 グループ	指導時間数	1時間 00分
	事例の概要： 50代男性、役職定年後の社内でのセカンドキャリア			指導の要点と課題、今後の目標：クライアントの強みの洗い出しが不十分、期限を意識し計画性を持ってコンサルティングを行う		
2	年月日	年 月 日	指導方法 (いずれかに○)	対一 グループ	指導時間数	時間 分
	事例の概要：			指導の要点と課題、今後の目標：		
3	年月日	年 月 日	指導方法 (いずれかに○)	対一 グループ	指導時間数	時間 分
	事例の概要：			指導の要点と課題、今後の目標：		
4	年月日	年 月 日	指導方法 (いずれかに○)	対一 グループ	指導時間数	時間 分
	事例の概要：			指導の要点と課題、今後の目標：		
5	年月日	年 月 日	指導方法 (いずれかに○)	対一 グループ	指導時間数	時間 分
	事例の概要：			指導の要点と課題、今後の目標：		
6	年月日	年 月 日	指導方法 (いずれかに○)	対一 グループ	指導時間数	時間 分
	事例の概要：			指導の要点と課題、今後の目標：		
7	年月日	年 月 日	指導方法 (いずれかに○)	対一 グループ	指導時間数	時間 分
	事例の概要：			指導の要点と課題、今後の目標：		
8	年月日	年 月 日	指導方法 (いずれかに○)	対一 グループ	指導時間数	時間 分
	事例の概要：			指導の要点と課題、今後の目標：		
9	年月日	年 月 日	指導方法 (いずれかに○)	対一 グループ	指導時間数	時間 分
	事例の概要：			指導の要点と課題、今後の目標：		
10	年月日	年 月 日	指導方法 (いずれかに○)	対一 グループ	指導時間数	時間 分
	事例の概要：			指導の要点と課題、今後の目標：		

キャリアコンサルタント登録番号	XXXXXXXXX	指導者確認欄： フリガナ：スズキ イチロウ 指導者氏名：鈴木 一郎
1級キャリアコンサルティング技能士合格番号	XXFXXXXXXXXX	指導者が署名捺印してください



【注意事項】

- 「技能検定キャリアコンサルティング職種1級に合格したキャリアコンサルタントにより行われるキャリアコンサルティングの実務に関する指導」に該当するかどうかは、以下のいずれの項目にも適合するかを基準に個別に判断することになります。
 - 指導者は、技能検定キャリアコンサルティング職種1級に合格しており、かつキャリアコンサルタントであること。
 - 指導者から被指導者への指導が、対一、または個別指導が成立する程度の対一少人数（概ね6名以内）形態で、対面・応答的方式により行われること。
 - 指導が、被指導者がキャリアコンサルタントとして従事した事例に基づくものであること（職業キャリアの分野以外のカウンセリング事例に基づくもの等は対象となりません。）、また、指導者が被指導者のキャリアコンサルタントとしての課題や目標を把握した上で、これを踏まえキャリアコンサルティングの技能等に関して個別・具体的な指導を行っていること。
- 計上する時間は、指導を受けた時間のみを計上し、記録作成等の時間は記載しないこと。
- 当該指導者による実務指導が複数年度にわたる場合は、年度ごとに1枚とすること（一証明書内で年度をこえないようにすること）。
- 複数の指導者による実務指導を受けた場合は、指導者ごとに作成すること。